



よしまた洋県議は9月28日、県議会で一般質問を行いました。

## 命を守るための対策を

### コロナ感染者

#### 症状に応じて必ず 医療機関にアクセスできる体制を

政府が「原則自宅療養」とするも  
とで、8月だけで自宅療養でなくな  
る方が全国で250人にのぼります。  
よしまた県議は、症状に応じた医療  
対応が必ずできるように、場合によ  
っては臨時医療機関の設置も必要  
だと迫りました。

### 病床削減

#### パンデミックに対応できなくなる。 感染流行に備え、見直しを

県は2025年に想定される「必要」  
病床数をめざして病床削減計画を続  
けています。よしまた県議は、「パン  
デミックを知らずに算出し、病床  
ひっ迫することが分かっている数  
を、4年後の目標数にすべきではな  
い」と見直しを求めました。

### 医療・公衆衛生の 再生・強化へと決意

医療関係者などの努力にも関  
わらず医療体制がひっ迫する根  
本には、感染症病床や保健所を  
半減させてきた政治の責任があ  
ります。よしまた県議は、次のよ  
うに決意を表明しました。

「日本共産党は9月22日、新  
経済提言を発表し、『医療・公  
衆衛生 再生・強化プログラム』  
を提唱しました。その実現へ全  
力をつくす決意です。」

## 子どもや子育て世代にとって 魅力ある青森県に



### 生理用品

#### 学校のトイレへの配備を

生理用品についてよしまた  
県議は、トイレットペーパー  
と同じように必要不可欠な  
備品として学校に配備すべ  
きだと提起しました。

和嶋延寿教育長は、保健  
室での配布のとりくみを答  
弁するにとどまりました。

### 国保料・税の均等割を廃止

#### 子育て世代の負担軽減を

均等割は、子どもの頭数で、保険  
料・税の負担を割り当てるもので理  
不尽です。ただちに廃止するよう  
に求めました。

奈須下淳健康福祉部長は、国は軽  
減策を決めたものの、さらに軽減を  
はかるように働きかける、と答弁し  
ました。

### 医療的ケア児への支援体制

#### 法律制定を受けて、さらに努力を

医療的ケア児への支援体制につ  
いて、9月18日から新しい法律が施  
行されました。よしまた県議は、法  
施行を力に、さらに努力がひろがる  
ように質問しました。

三村申吾知事は、「(新法で設置が  
求められる)医療的ケア児支援セン  
ターは、現在、県が設置している多  
職種コンサルテーションチームの活  
動の継承について検討するなど、支  
援体制のさらなる充実につとめてい  
く」と答弁しました。

### 一般質問の質問項目は次の通りです

臨時の医療機関の設置について  
／病床削減について／医師数増に  
むけた努力について／デルタ株か  
ら子どもたちを守る課題として、  
検査体制について／事業継続支援

事業について／むつ市大畑小赤川  
の流木の処理について／流域治水  
について／子どもたちの心のケア  
について／浪岡高校統廃合計画/  
校則について／生理用品の学校へ

の配備を／国保税：均等割廃止を。  
県運営方針について／医療的ケア  
児への支援体制について／オスブ  
レイの訓練／原発・核燃政策につ  
いて



**ツーブロック禁止**  
下着の色・柄を指定



# 行き過ぎた校則は 人権の視点で総点検を

よしまた洋県議は9月28日、県議会一般質問で校則問題を質問しました。校則を変える主体は生徒を中心とした学校現場にあることを壇上で指摘したうえで再質問を行いました。再質問の記録を紹介します（正式なものは、県議会HPに掲載予定の議事録をご覧ください）。



## 校則問題とは、人権問題

### ●よしまた県議

…答弁のなかで、校則は人権に配慮する必要がある、とありました。国会では文部科学大臣が次のように言っています。▶「人権、人格を否定するような校則は望ましいものではない」▶「自尊感情等しっかり踏まえて判断がされるべきものと考えている」。この2点は県教委も共有できますか？

### ●和嶋教育長

まさに、子どもたち一人ひとりが校則を理解し遵守していくということが必要だと思っていますので、**指導の中で子どもの自尊感情を傷つけるようなことがあると、逆に指導としてマイナスの部分がでてくるのかな、と。**その意味では子どもを尊重しながら、一方で校則の指導として、子どもたちに理解してもらうことが大事だと思っております。

### ●よしまた県議

校則問題とはすなわち人権問題であり人格や自尊感情に関わる問題だということは確認しました。

じゃあ現実の校則がそれにふさわしいものになっているか、ということを検討したいと思います。

…私はこの間、何人かの高校生から直接話をうかがい、また生徒手帳などを見せてもらいました。髪の色が明るいと学校で黒染めされるといった高校生もいました。

ツーブロックは多くの高校で禁止されています。ツーブロックを禁止することによって達成が期待

される教育目的とはいったいなんでしょう。

### ●和嶋教育長

…いまお話の一つひとつの校則の細かな部分ではなくて、大事なものは、保護者を含めて、子どもたちと学校とで共通理解をもった校則として定めていくこと、その作業が大事だと思っています。

### ●よしまた県議

…服装も細かく規制されています。（ある学校では）「下着は白系の無地またはワンポイントのものを着用すること」となっている。佐賀県の弁護士会は、下着の色の規制が「生徒に羞恥心を抱かせるなど新たな人権侵害を生み出すことになる」と指摘しています。**こういう校則の存在そのものが、生徒の人格と自尊感情を損ねると私は思います。**教育長の見解をうかがいます。

### ●和嶋教育長

…すべての学校の校則について把握しているわけではありませんが、各学校において、現在運用されている校則は、概ね社会通念に照らして合理的とみられる範囲内で定められているものと考えています。

一方で、県教育委員会で校則の積極的な見直しについて今年3月に通知したところであり、校則の見直しには、生徒・保護者・学校との共通理解が必要であることから時間を要するものと考え

えています。

## “個を尊重することで解決する課題は多い”(教育長)

### ●よしまた県議

私は下着の色を白にしろとか、ワンポイントならよくてツーポイント以上ならだめだ、という社会通念はないと思いますよ。それはやはり放置しておいてはだめだ、と思います。

（本県の「第18回いじめ防止対策審議会」で）いじめと校則との関係で深刻な指摘がされています。いじめ審議会での意見と校則の関係というのは、その後、どう議論されていますか。

### ●和嶋教育長

…学校における様々な課題は、子どもたちの人権、一人ひとりの子どもたちを尊重するという考え方の浸透がさらに必要だと思っております。そういうなかで校則も、またいじめもそうですが、**一人ひとりの個を尊重する、人権を尊重するところから切り口に解決できるものも多いと思っております。**

### ●よしまた県議

大変大事な答弁だったと思います。一人ひとりの個を、人権を大事にするところから考えていけば切り口が見えてくる、ということでした。**それがぜひ学校現場で貫かれるように求めたいと思います。**